



## みどりの 女神が行く!

ミス日本みどりの女神  
こばやし ゆうき  
小林 優希

皆さま、初めまして。  
2021ミス日本コンテストで「みどりの女神」に選んでいただきました。小林優希と申します。

私は慶應義塾大学に通う新4年生です。経済学部の授業で、戦後の林業が日本経済の復興に多大なる影響をもたらしたことを学びました。当時から、林業は日本にとってか

けがえのない存在だったので  
すね。

### 自然の魅力を教えてくれた ブラジルの森林

私が親しみのある森は、ブラジルの熱帯雨林です。中学3年間をブラジルで過ごした私は、サンパウロ日本人学校の中学部に通っておりました。サンパウロ日本人学校は、当時世界で2番目に大きな学校と言われており、敷地内にジャングルのように木々が生い茂っているところや、コーヒー園、バナナ畑などがありました。教室から体育館に移動するだけで、授業間の休み時間が終わってしまうような広い学校で、二ワトリが自由に駆け巡っていたことや、イグアナやフクロウを見られたことは、今となっては大変貴重な経験であったと感じてお

ります。

そのようなブラジル時代に、家族とイグアスの滝を訪れたことがあります。滝にたどり着くまで、木々をかき分けて森の中を歩いて行くのですが、その空間はとても神秘的なものでした。青々しい緑の葉から差し込む強い光。木が風に揺られることで織り成す葉の擦れる音。都会では感じられないような、柔らかな美味しい空気。全てが心の癒しとなるもので、生きているうちにもう一度訪れたい場所です。

コンテストの前日、日本の森林とブラジルの森林に対する印象を質問していただきま

した。正直に申し上げますと、私はそこまで日本の森林を訪れたことはありません。小学生の時に両親に連れて行ってもらったキャンプや、学校主催の体験学習、修学旅行で富士山の5合目まで登ったことくらいです。



▲熱帯雨林の広がるイグアスの滝にて



▲2021ミス日本コンテストにて



▲CLT広報大使任命式にて

それまでの経験を踏まえ、日本の木々はまっすぐ誠実に、お互い気を遣って成長しているようなイメージを抱きました。一方で、ブラジルの木々は、そこに何か障壁があるのが関係なしに「我先に」と曲がりくねってでも伸びている印象。振り返ってみると、自然にまで「国民性」やその国の雰囲気が出てくるよう

に感じました。

日本の木々が私の印象と合っているのか、実際に足を運び、確かめていきたいです。

### CLT広報大使に就任

みどりの女神に就任してから1週間が経った3月29日、首相官邸にてCLT広報大使の任命式がございました。初

めの官邸で岡田官房副長官にお会いし、二度とない経験に感無量でした。

CLTの木材技術については、ファイナリストの勉強会期間中に林野庁の本郷長官をはじめとした様々な方からお話をお伺いし、学んだばかりです。当日もCLTについて今後の展望などを伺い、改めてこの優れた技術を日本国内

で普及させていくお手伝いに尽力したいと、決意を新たにいたしました。

CLT広報大使としてのみではなく、みどりの女神として日本の林業を伝えていきますよう、一生懸命努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。